



ハードウェアインターフェース

各製品がサポートしているハードウェアインターフェースの種類を表5. 1に示した。今回の集計にあたっては、オプションも含めた対応状況も記載した。

大多数の製品がパラレル系のインターフェースに対応している一方で、オプションを含めたネットワーク対応は昨年以上に進んでいるのが特徴といえる。また、USB、IrDA等、新しいインターフェースに対応した機種の発表もみられた。

また、1機種が対応しているインターフェースの数の比率は図5. 1に示すところである。平成8年に比較して、1種類のみ対応という製品は更に減り、複数のインターフェースに対応している機種の割合が増えている傾向にある。

表5. 1 ハードウェアインターフェースの種類

	種類	対応機種数	
		昨年	今年
非Net系	パラレル系(含mable, ECP, EPP, IEEE-1284) シリアル系(RS-232C, RS-422)	47 20	0 3
SCSI		3	0
USB		0	0
IrDA		0	0
Net系	ネットワークA ネットワークB その他のLAN	6 5 2	5 14 2
その他		1	0
		6	4

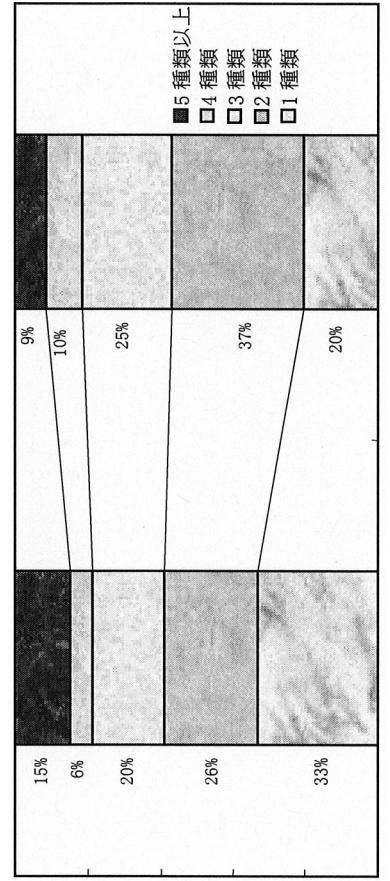


図5. 1 対応ハードウェアインターフェースの数



対応OS

各製品が標準で対応しているOSの機種数を図6. 1に示す。90%以上の機種でOS-A, OS-B, OS-Cに対応しており、非対応の機種は各社独自のメインフレームへの対応のみの機種となっている。

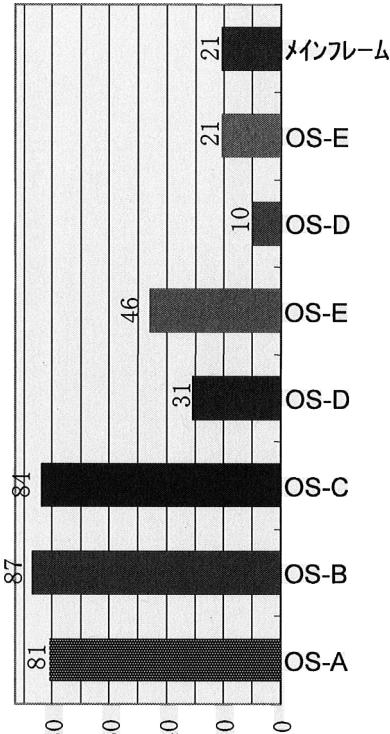


図6. 1 対応OS

